

八幡仏教会報

第 11 号

発行所
岐阜県郡上市八幡町
八幡仏教会

発行責任者
会長 浅野真顕

八幡仏教会ホームページ
<http://www.8butsu.jp>

無常の時

八幡仏教会会長 浅野真顕

今回は寂しいご通知をせねばなりません。前仏教会会長、現相談役の元願蓮寺住職石神明様が六月二十八日お浄土に還浄されました。寔に哀悼の意に堪えませんでした。毎年行われている灯籠流しは願蓮寺様、悟竹院様、私くしにて四十数年前はじまった行事です。又、今年はコロナ禍で中止せざるをえない八幡十三力寺めぐり暁天の集いも石神明相談役の発案で始まった行事です。灯明の輝きが消えた

ような心細さと、悲しみを禁じずことができませぬ。永年におたる仏教会長、相談役、大変お疲れさまでした。

まだまだコロナ禍のただ中にいる我々です。「自粛」を余儀なくされ、今日・明日の生活の目途が立たずどうしてよいかかわらなくなりませぬ。そこで仏教を開かれたお釈迦様は苦の原因を取り除くための方法として「八正道」をお説きになられました。

- 「正しい見解」
 - 「正しい考え」
 - 「正しい言葉」
 - 「正しい行い」
 - 「正しい生活」
 - 「正しい努力」
 - 「正しい注意」
 - 「正しい心の安定」
- の八つを挙げました。このような時だからこそ「八正道」を意識し生活する必要があるのです。
- 日頃は八幡町八幡仏教会に対し、深いご理解とご協力を頂き厚く御礼を申し上げます。新年度を迎え仏様のお教えを通じて心の養育をねがいとする活動に、益々のご支援を賜りますようお願いいたします。

縁起の世界

八幡仏教会副会長 千葉 謙

仏教の教えは、「縁起」ということがないと成り立ちません。人間もそれと同じように、「縁」によって成り立ち、「縁」によって生かされ生きていきます。つまり、人間はあらゆる関わりを絶ったところで、一日一分たりとも生きていくという事は出来ないということです。

この「縁」という言葉、私達は、普段何気ない挨拶の「お蔭様」という言葉で使っております。これは、私が計らずして、ここに生かされていることの喜びを表す言葉なのでしょう。

しかし、最近はこの「縁(お蔭様)」を喜ぶことが少しずつ薄れてきているように思えてなりません。

数年前の新聞に掲載されていたのですが、富山県のある小学校で、保護者団体の方から、給食を食べる際「いただきます」という習慣を取りやめにしてほしいという申し出が学校側に対してありました。

その理由としては、一つには偏った宗教色を子どもに植え付けることになるということと、もう一つは、親が給食費を払っているのだから、その他のことに対して「いただきます」というお礼めいたことは言わないでもいいだろうということなのです。

結局学校側が、明確な返答を出せず、裁判に持ち込まれたのですが、最終的には保護者団体側が勝訴して、その後の学校では「いただきます・ごちそうさま」の習慣を無くしたそうです。

私達は、学校だけに限らず、どこで食事を取るにしても「いただきます」は当然のこととして、別に何の違和感も逆らうこともなく食前の言葉として使ってきました。

言うまでも無く、私達が食するものは、根本にはいのちあるものの存在があり、それを育てる人があり、調理する人があると、様々な「お蔭」があつてのことです。この事実が喜べないということになると、殺伐とした人間関係と、生きる事の迷いと、差別と偏見があふれ、争いの絶えない、生きるということの真実とはおよそかけ離れた世界ができあがってしまうのではないのでしょうか。

仏教をお開きになった、お釈迦様は「縁起(お蔭様)の道理をもって、諸々の事象を繰り返し観察する」ことによつて覚りを得られました。

「縁起(お蔭様)」で生かされていることが、身の事実として明らかになつていない私達の為に、その事にしっかりと目を見開いて生きて生きなさいよという仏教の教えを、今この時代だからこそ身をすえて聞いていかねばならないのではないのでしょうか。

令和元年度

主な事業報告

五月五日(日)

花祭りパレード

七月二十八日(日)～八月九日(金)

八幡十三ヶ寺めぐり

暁天の集い

八月十七日(土)

灯笼流し

九月十六日(月)

追弔会

令和二年度

主な事業予定

五月五日(火)

花祭り

中止

七月二十八日(火)～八月九日(日)

暁天の集い

中止

八月十七日(月)

灯笼流し

中止

九月十六日(水)

追弔会

(寺院・役員のみで開催)

※今年度はコロナ禍のため主な行事を中止しております。ご了承ください。

令和二年度役員

令和二年度の役員は、次のとおりです(順不同)。ご苦勞様ですがよろしくお願いたします。

会長 浅野真顯(洞泉寺)

副会長 千葉讓(長敬寺)

玉腰秀樹(淨因寺)

事務局長 稲村隆元(悟竹院)

本田あけ美

山下健一

直井忠

服部貢一郎(善光寺)

筒井淳美

和田勝介

川上朝史

加藤一朗

坪井實

清水俊夫

大前三郎

服部純一

加藤克久

濱口民男

平瀬忠寿

石神真(願蓮寺)

川岸承翁(楊柳寺)

楠智広(安養寺)

高橋教雄(大乘寺)

多田克次(最勝寺)

東宜隆(慈恩寺)

中島密慈(遍照殿)

毛利諦信(蓮生寺)

町内世話人(七月十七日現在)

上 桜町

下 桜町

上 柳町

中 柳町

上 柳町

中 柳町

下 柳町

中 柳町

上 柳町

下 柳町

上 柳町

中 柳町

下 柳町

上 柳町

中 柳町

下 柳町

上 柳町

中 柳町

下 柳町

上 柳町

中 柳町

下 柳町

上 柳町

中 柳町

下 柳町

上 柳町

中 柳町

下 柳町

下日吉町

大前三郎

朝日令子

古田博之

篠田節子

和田美智也

和見光義

和田久志

池戸健一

河合宏幸

日置進

古藤治

坪井純一

服部純一

加藤克久

鷺見宏康

田中清美

森徹

山下茂

中邑篤司

藤田武司

桐山喜芳

大坪重弘

白滝明久

野田修司

馬場直美

浜口民男

平瀬忠寿

羽田野優男

岡崎稔

齊藤實

清水晋

前山達也

酒井美津夫

三島修

鎌倉要一

後藤千廣

中 坪

小野八丁目

小野七丁目

小野六丁目

小野五丁目

小野四丁目

小野三丁目

小野二丁目

小野一丁目

五が洞

初音一区

上が洞

城南町

住吉町

新栄町

下榎形町

上榎形町

大正町

今小町

栄小町

今小町

池戸健一

村瀬孝治

和見光義

和田久志

池戸健一

河合宏幸

日置進

古藤治

坪井純一

服部純一

加藤克久

鷺見宏康

田中清美

森徹

山下茂

中邑篤司

藤田武司

桐山喜芳

大坪重弘

白滝明久

野田修司

馬場直美

浜口民男

平瀬忠寿

羽田野優男

岡崎稔

齊藤實

清水晋

前山達也

酒井美津夫

三島修

鎌倉要一

後藤千廣

中 坪

令和2年度八幡仏教会予算

2020年4月1日~2021年3月31日

【収入の部】

科目	前年度実績	予算額	備考
繰越金	920,654	951,853	
会費収入	682,000	685,000	@500×1,370戸分
事業収入	236,051	273,000	
内訳	花まつり	14,682	参加費@100×130人分
	灯籠流し	177,189	灯籠申し込み@2,000×100基分
	追弔会	44,000	志納金ほか
	暁天の集い	0	0
雑収入	1,009	0	
積立金取り崩し	0	0	
合計	1,839,714	1,909,853	

【支出の部】

科目	前年度実績額	予算額	備考
事業部費	584,523	610,000	
内訳	花まつり	147,708	150,000
	灯籠流し	243,635	250,000
	追弔会	139,180	150,000
	暁天の集い	54,000	60,000
総務部費	0	0	
教化広報費	36,460	50,000	サーバ利用料、会報
事務費	58,016	60,000	通信費、事務用品等
会議費	83,700	100,000	世話人会、理事会、監査会
渉外費	120,640	150,000	市仏教会費、倉庫土地借料等
備品費	4,342	100,000	
予備費	0	839,853	
次年度繰越金	951,853	0	
合計	1,839,534	1,909,853	

今年(令和2年)は日本全国でコロナによる自粛です。残念ですが当仏教会も三蜜(三密)になり行事は中止することとなりました。どうぞ皆様ご自愛ください。

八幡仏教会報へのご意見、ご要望等ございましたら、柳町 善光寺までご連絡ください。次回の参考にさせていただきます。(せ)

《あとかぎ》

令和元年度八幡仏教会収支決算書

2019年4月1日~2020年3月31日

【収入の部】

科目	予算額	決算額	増減	備考	
繰越金	920,654	920,654	0		
会費収入	685,000	682,000	△3,000	会員1364人	
事業収入	273,000	235,871	△37,129		
内訳	花まつり	13,000	14,682	1,682	参加120人、賽銭
	灯籠流し	200,000	177,189	△22,811	83基、志、賽銭
	追弔会	60,000	44,000	△16,000	志納金ほか
	暁天の集い	0	0	0	
雑収入	0	1,009	1,009	貯金利息、新規会員	
合計	1,878,654	1,839,534	△39,120		

【支出の部】

科目	予算額	決算額	増減	備考	
事業部費	590,000	584,523	5,477		
内訳	花まつり	150,000	147,708	2,292	ポスター、記念品、布施等
	灯籠流し	240,000	243,635	△3,635	チラシ、灯籠、布施等
	追弔会	150,000	139,180	10,820	チラシ、供物、お礼、布施等
	暁天の集い	50,000	54,000	△4,000	チラシ、ポスター、啓蒙費
総務部費	0	0	0		
教化広報費	50,000	36,460	13,540	サーバ利用料、会報	
事務費	50,000	58,016	△8,016	通信費、事務用品等	
会議費	100,000	83,700	16,300	世話人会、理事会、懇親会等	
渉外費	180,000	120,640	59,360	市仏教会費、倉庫土地借料	
備品費	100,000	4,342	95,658		
予備費	808,654	0	808,654		
小計	1,878,654	887,681	990,973		
繰越金	0	951,853	951,853		
合計	1,878,654	1,839,534	39,120		

積立金	定期貯金	1,151,006(元利合計額)
-----	------	------------------

上記のとおり報告します。

令和2年3月25日 八幡仏教会 会計 本田 あけ美

監査の結果 正確であることを認めます。

令和2年3月25日 八幡仏教会 監査 筒井 淳美

監査 和田 勝介